

NEXT10年ビジョン

2nd Stage

2015 - 2019年度

Action Plan

Flag management

2016.1 小松市

まちづくりを次のステージへ

ビジョンに政策と予算をリンクし実行していくための
5か年のまちづくりアクションプラン

10年ビジョンからNEXTへ

小松市基本構想
2002-2015

10年ビジョン
2011-2020

アクションプラン
(1stステージ)
2011-2014

小松市都市デザイン 2015-2025

新たなまちづくりの方向性を示す指針として
4つの視点・8つの都市像・2つの原動力(エンジン)を設定

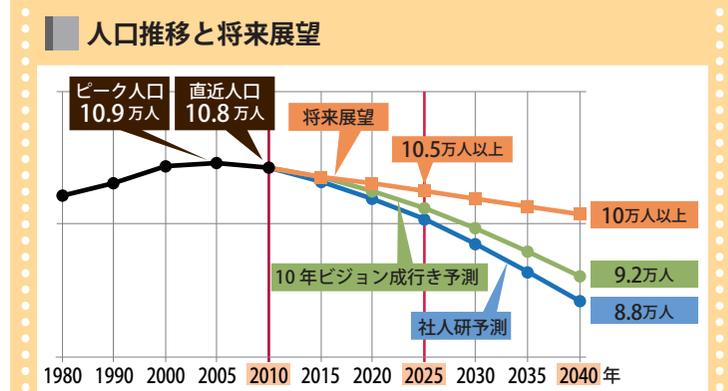
人口目標	10万5千人以上	
サブ目標	活力人口 (15~64歳)	6万人以上
	20歳未満人口 (~19歳)	2万人キープ
	いきいきシニア率 (75歳~)	75%以上

NEXT10年ビジョン 2015-2025

アクションプラン (2ndステージ) 2015-2019

都市デザインの考え方を拡大

こまつ人口ビジョン —— 2040年に10万人以上をめざして ——



地方創生をチャンスに

【国】
まち・ひと・しごと創生総合戦略
など

こまつ創生総合戦略 2015-2019

人口減少の克服と人口減少社会の課題に
先取りして対応する5か年の行動計画

NEXT10年ビジョン 9つの代用特性

- | | |
|--|--|
| 1 ものづくり産業力20%UP
～製造品出荷額等 7,000億円へ
(6次産業は 300億円へ)～ | 6 笑顔いっぱい子宝1.8
～合計特殊出生率 1.80へ～ |
| 2 グローバルチャレンジ50000
～外国人の宿泊者数 50,000人へ～ | 7 いきいきシニア75%
～75歳以上で介護認定を
受けていない人の割合 75%～ |
| 3 おもてなしゲット700万人
～交流人口 700万人へ～ | 8 スマートリサイクル33%
～リサイクル率 33%で全体の1/3に～ |
| 4 将来負担を軽減、1000億円-α
～市債残高 1,000億円未満へ圧縮～ | 9 住みよさランクTOP10
～住みよさランキング 10位以内へ～ |
| 5 ようこそ小松プラス5000
～こまつへの転入者 5,000人へ～ | |

こまつ創生総合戦略 4つの基本目標

- | | |
|---|---|
| 1 はつらつとしたひとづくりで、
まちの活力と未来を創生

人材育成
行財政改革 など
 | 3 こまつでの、家族の
幸せなライフステージを創生

結婚・出産・子育て支援
予防先進・健康長寿
住みよさアップ など
 |
| 2 女性や若者、多様な人びとの
しごとを創生

産業創生
女性の活躍 など
 | 4 アクセスを活かし、
新しい産業や文化、くらしを創生

アクセス向上
広域連携 など
 |

総合戦略の基本目標を一部再編・追加してビジョンの代用特性と一体化

アクションプラン(2ndステージ)

ビジョンの代用特性のもとに政策と細かな数値目標をプランチ

- 1** はつらつとしたひとづくりで、
まちの活力と未来を創生
- 2** たくましい財政、
市民から信頼される市役所を創生
- 3** 女性や若者、多様な人びとの
しごとを創生
- 4** 環境と共生する
スマートなくらしを創生
- 5** こまつでの、家族の
幸せなライフステージを創生①
- 6** こまつでの、家族の
幸せなライフステージを創生②
- 7** アクセスを活かし、
新しい産業や文化、くらしを創生

はつらつとしたひとづくりで、まちの活力と未来を創生

Challenge 2025 ようこそ小松プラス5000 ～こまつへの転入者 5,000人へ～

ものづくりは ひとづくり

- 「世界の子ども科学技術都市」 理科・科学大好き青少年を育成
 - ① 大学や企業と連携した幼児期からの理科教育、小中学校からの理科・科学教育を実施
 - ② 科学研究・宇宙開発の専門機関や大学・企業と共同で、最先端の科学技術教育を展開（サイエンスヒルズこまつを活かす）
- ものづくりの未来を拓く産業人育成のメッカに
 - ③ 大学や企業とともに多様な人びとの技術力・経営力を向上、スキル豊かな人材を輩出（若者・女性・シニアのスキルアップ、外国人のインバウンド研修など）
 - ④ 伝統の技の継承や新たな感性・技術でイノベーションに挑む人びとを積極応援

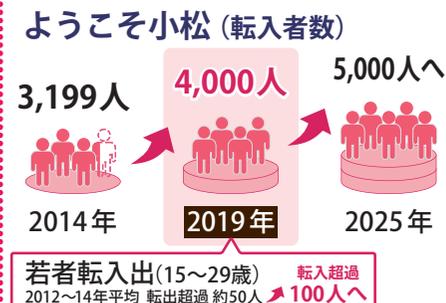
一貫した ひとづくり

- 幼児教育から生涯学習まで一貫したひとづくり
 - ⑤ 特色ある幼児教育のこども園を拡大（保育と教育を両立）
 - ⑥ 特長を活かした小中学校づくり（国際学習、伝統文化、自然体験、サイエンスなど）
 - ⑦ 子どもたちが夢を描けるキャリア教育を充実（しごと体験やお金の仕組みなど）
 - ⑧ 公民館改革で、地域の生涯学習拠点に機能を拡大（子どもたち、パパ・ママ・シニア、外国人もみんなが集い学ぶ）
 - ⑨ 誰もがスポーツ・文化・芸術活動に親しむ環境を整備
- 国際舞台で躍動するアスリート・アーティスト育成
 - ⑩ 幼少期から心・技・体を育てる仕組みと環境を充実（指導者育成、ICTや医科学など専門トレーニングの充実、留学・派遣支援など）
 - ⑪ トップアスリート・アーティストからの直接指導や交流・観戦機会を拡大
 - ⑫ 国際試合や展覧会などトップレベルの大会に対応できる機能の充実・強化

大学改革で 新しい ひとの流れづくり

- 真のCOC（地・知）の拠点を實現する新しい高等教育へ
 - ⑬ 公立の4年制大学を開学（小松短期大学・こまつ看護学校を再編）
 - ⑭ そして、世界やふるさとのものづくり、地域の医療福祉、グローバル交流を支え成長する若い人材を輩出
 - ⑮ 留学生交流や海外インターンシップなど多様な経験で国際感覚を養う
 - ⑯ 合わせて、シニアの学び直しや女性の活躍支援など、市民が学び成長する拠点を實現

Key Performance Indicator



サブ指標

大学等理系進学率（小松市立高校生）



認定こども園移行率



若者就業率（20～34歳・学生等除く）



（仮称）公立小松大学

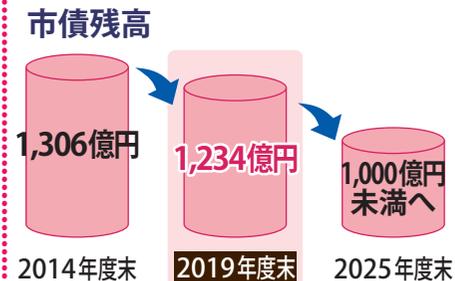
2018年度開学

※開学後は、地元からの入学や地元就職などに関する指標を採用予定

たくましい財政、市民から信頼される市役所を創生

Challenge 2025 将来負担を軽減、1000億円-α ~市債残高 1,000億円未満へ圧縮~

Key Performance Indicator



サブ指標

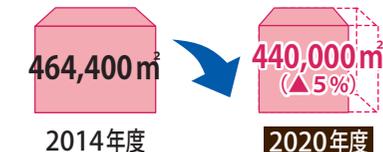
市職員数 (消防職・医療職・教員除く)



**マイナンバー
個人番号カード交付数**



公共施設延床面積



未来につなぐ
たくましい財政

- 将来負担を徹底して軽減
 - ① 市債残高を圧縮 (市債発行額の抑制、繰上げ償還は随時実施)
 - ② 公営企業会計 (水道事業、下水道事業、市民病院) や特別会計の一層の健全化
- 固定費を圧縮し、柔軟な財政構造を実現
 - ③ 職員定数の適正管理
 - ④ 公共工事のコスト縮減と新しい技術導入を推進
- 新たな財政制度を有効活用
 - ⑤ ふるさと納税や補助メニューなどによる財源確保推進

まちづくりを
リードする市役所

- 職員育成でまちづくりのプロ集団に
 - ⑥ 人事制度改革 (有効な人事評価、適材適所の異動ローテーション)
 - ⑦ 時代に対応した研修など専門性と能力向上
- 機動的、そして身近な組織づくり
 - ⑧ 組織は戦略に従う (目標共有、重複と隙間の解消、意思決定スピードアップ)
 - ⑨ 身近な相談体制づくり (きめ細やかな配置や機能集約)
- 民間の経営感覚で仕事を改革
 - ⑩ 仕事の業務改善で業務効率を徹底アップ (3M、5S、QC、PDCAサイクル)
 - ⑪ ICTも積極的に利活用 (マイナンバーの活用促進と付加サービス拡大、3Dやデータベースなど)
 - ⑫ また、KEMS (小松市役所環境マネジメントシステム) 推進で環境負荷も軽減
 - ⑬ さらに、民間へのシフトも積極実施 (水道事業、保育所など)
 - ⑭ BCP (事業継続計画) の策定などリスク管理を推進

持続性を高める
資産マネジメント

- 将来を見据えた適正な維持管理・強靱化
 - ⑮ 長期的な視点に立った維持管理 (思い切った見直しなど)
 - ⑯ 公共施設のあり方を柔軟に発想転換 (コンパクト化・複合化など)
 - ⑰ 公共施設マネジメント計画を時代に応じて見直し

新しい行政への
進化

- 時代にふさわしい自治体のあり方を追求
 - ⑱ 広域の視点による多様な連携で行政の新しい形づくりを推進 (近隣から海外、企業・大学など幅広く、定住自立圏や連携協約、各種協定・交流など)
 - ⑲ 外郭団体改革 (まちづくり・ひとづくり諸団体のレベルアップ、見直し)

女性や若者、多様な人びとのしごとを創生

Challenge 2025 ものづくり産業力20%UP ~製造品出荷額等 7,000億円へ(6次産業は300億円へ)~

女性の活躍を 応援

- 多様な分野での活躍を創出
 - ① おもてなし力やセンスを活かす観光やデザインなどの産業を育成
 - ② イノベーションによる機械化・自動化・省力化で、女性も働きやすい環境づくり
 - ③ 起業家育成とフォローアップ体制を拡充
 - ④ 働き方改革でワーク・ライフ・バランスを企業とともに充実

産業競争力を 強化

- 日本を代表するものづくり産業クラスターのさらなる進化
 - ⑤ グローバル企業を中心とした企業集積をさらに促進
 - ⑥ 人材育成、エネルギー技術等、トップランナーとしての取り組みを推進
- バランスのとれたたくましい産業都市づくり
 - ⑦ 新産業ゾーンを形成
 - ⑧ アクセスを活かした国際物流、医療・福祉・健康、企業本社機能など、バランスのとれた企業誘致・育成
 - ⑨ 乗りものに代表されるものづくり技術や伝統産業など、強みを活かした魅せる産業観光を推進
 - ⑩ 産学官共同研究や異業種交流を通じた創造とサイエンスで、技術力・価格力・提案力を向上

農林水産業を 高度化

- 成長産業への進化
 - ⑪ グローバル企業や大学との共同による第一次産業の高度化(ICT農業など)と6次産業化
 - ⑫ 環境王国ブランド力を高め、国内外に販路を拡大(米、トマト、木材など)
- 新たな経済価値の創出
 - ⑬ 木質バイオマス活用など再生可能エネルギー推進と企業の環境負荷軽減

新たなビジネス スタイルへの転換

- 時代に対応した産業へ
 - ⑭ カードやICTなど新技術による便利で多様なビジネススタイルを展開
 - ⑮ 金融機関と連携したきめ細やかな起業・創業支援

Key Performance Indicator

ものづくり産業力(製造品出荷額等)



サブ指標

女性就業率(20~64歳)



ワーク・ライフ・バランス優良事業者数



新産業創出等による新規就労者数



商業・年間商品販売額



環境と共生するスマートなくらしを創生

Challenge 2025 スマートリサイクル33% ～リサイクル率33%で全体の1/3に～

Key Performance Indicator

リサイクル率

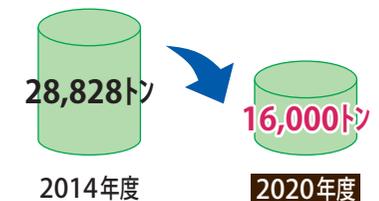


サブ指標

木質バイオマス活用 間伐チップ出荷量 (小松市分)



可燃ごみ量



テクノロジーで
地球と未来に
やさしく

- 地産地消のエネルギーを有効活用 (創エネ)
 - ① 再生可能エネルギーの利用拡大 (木質バイオマス、小水力など)
 - ② スマートシティ拠点「(仮称)エコロジーパークこまつ」を整備 (焼却熱で発電、余熱を活かした温室栽培など)
- 進化する技術を活用して環境負荷軽減 (省エネ・畜エネ)
 - ③ エネルギーを賢く使う (LED、スマートグリッド、燃料電池など)
 - ④ 電気・水素などCO₂排出ゼロのスマートカーを普及

テクノロジーと思いやりで
ふるさとと自然に
やさしく

- ゼロエミッションのまちづくり
 - ⑤ 家庭・企業・地域との共創で展開 (3R活動、3バック・生ごみ3キリ運動など)
 - (3R: Reduce(発生抑制)、Reuse(再使用)、Recycle(再資源化))
 - (3バック: 紙にバック(古紙再資源化)、肩にバック(マイバック)、土にバック(堆肥化))
 - (3キリ: 使いキリ、食べキリ、水キリ)
 - ⑥ 企業や地域のリサイクル拠点を拡大
- こまつの豊かな自然や生命を守り育む
 - ⑦ 森林の適正管理と木材の活用拡大の両立を実現し、里山・奥山の原風景を保全
 - ⑧ 豊かな自然フィールドでの環境教育や学術・芸術活動を振興
 - ⑨ いのちを育む水資源管理と循環の維持 (木場瀧の水質改善、水路や河川・地下水などの適正管理、水源保全など)
 - ⑩ 身近な動植物に親しみ希少生物を愛おしむ心を育てる

ICTで
ひととくらしに
やさしく

- くらしやビジネスの便利・安心・楽しいを創出
 - ⑪ マイナンバーや多機能カードの活用推進 (買い物、旅行、手続きなどはキャッシュレス・ペーパーレス・ワンストップ)
 - ⑫ 身近となったウェアラブル端末を上手に利用 (グローバルコミュニケーションや、子育て・教育、見守り、防災・防犯、健康管理など各種サポートへの活用とともに、快適に利用できる公衆無線LANを充実)
 - ⑬ 安全で効率的な道路交通や物流を実現 (ITS(高度道路交通システム)活用研究など)

こまつでの、家族の幸せなライフステージを創生①

Challenge 2025

笑顔いっぱい子宝1.8

～合計特殊出生率 1.80へ～

いきいきシニア75%

～75歳以上で介護認定を受けていない人の割合 75%～

日本一の
子宝サポート

- 日本トップクラスの結婚・出産・子育て環境づくり
 - ① 出会いや結婚によるアンバーサリーづくりを支援
 - ② 不妊・不育治療支援や妊産婦健診の充実、赤ちゃん訪問をはじめとした各種サポート
 - ③ 子育ての経済的負担を軽減（子ども医療費や保育料など）
- 成長に応じたサポート体制を充実
 - ④ きめ細やかで包括的な相談・サポート体制づくり（子育て、発達障害、食育など）
 - ⑤ 幼・保・こども園から小学校、小学校から中学校への成長過程を一貫支援

いきいきシニア

- 予防重視で健康寿命を伸長
 - ⑥ 市民病院を中心とした医療機関との連携による予防医療を充実（介護、認知症、生活習慣病、がんなど）
 - ⑦ 運動、食生活など大学と共同で予防プログラムを研究実施
 - ⑧ 認知症など、地域におけるサポーターを拡大
- シニアが活躍する機会を創出
 - ⑨ 農業やものづくり技術指導など、仕事での活躍を推進
 - ⑩ さらに、豊かな里山での活動拠点を整備（農業や食などで活躍）
 - ⑪ 子育て、教育、地域活動など社会貢献活動を促進

やさしい
まちづくり

- おもいやりで幸せ度向上を追求
 - ⑫ シニアや障がいのある方をはじめ誰もがくらしやすく訪れやすい環境を整備（建物のバリアフリー、補助用具やロボットの普及、就労環境の充実など）
 - ⑬ また、利用者にやさしいバスストップやおもいやりのパーキング設置を促進
 - ⑭ 障がい者スポーツを振興
 - ⑮ 心を育てる教育・啓発の取り組み（インクルーシブ教育など）
 - ⑯ 多文化共生のひとづくり・まちづくりを推進
- おもてなしで満足度向上を追求
 - ⑰ 国内外来訪者の利便性を高める機能を充実（インフォメーション、公衆無線LAN、多言語案内・通訳ガイド、カード端末など）

Key Performance Indicator

合計特殊出生率



出生数 2015～19年 年間約 940人キープ

いきいきシニア率



✿ サブ指標

育児をしている女性の有業率(南加賀地域)



高齢者就業率(65歳以上)



がん検診受診率



こまつでの、家族の幸せなライフステージを創生②

Challenge 2025 住みよさランクTOP10 ~住みよさランキング 10位以内へ~

住みよさの
ランクアップ

- 定住・移住・3世代住まいアップ
 - ①定住・移住促進で、地元に残る人びと・U I J ターンを増加
(小松の住みよさを積極発信、インセンティブ制度のさらなる充実など)
 - ②また、3世代・準3世代住まいを推進
 - ③さらに、空き家・空地といった貴重な資産の活用や適正管理も推進
- 住みよさを高める機能を充実
 - ④新しいひと・もの・文化が対流するショッピングゾーンの形成
 - ⑤高度専門医療・救急医療と地域医療とのネットワークの構築・強化
 - ⑥身近な心身の健康福祉相談機能を充実(地域健康福祉センター)

豊かな自然を
満喫

- ふるさとの里山・里湖に親しむ
 - ⑦全国植樹祭開催の地、水郷木場潟のさらなる魅力アップ(100万人構想を推進)
 - ⑧豊かな自然フィールドでの環境教育や学術・芸術活動を振興(再掲)
(大杉みどりの里、里山自然学校こまつ滝ヶ原、日用苔の里などを活かす)
 - ⑨梯川・前川、安宅エリアの歴史を感じる親水空間の整備・充実
 - ⑩森林浴や湖畔浴、また温浴など、特長を活かした健康づくりを推進

共創の
ふるさとづくり

- 多文化共生のひとづくり・まちづくりを推進(再掲)
 - ⑪外国人のショート・ミドル・ロングステイを促進
 - ⑫日本でのこちよいくらしをフォローアップ
(語学・慣習・非常時対応などくらしの相談・サポート、インバウンド研修など)
 - ⑬日常での異文化交流を充実(あいさつ・多言語表記、食・文化体験、ホームステイなど)
- オールこまつの市民力・地域の絆を高め未来に引き継ぐ
 - ⑭まちの品格を高める市民力アップ(グッドマナーこまつ・フローラルこまつ推進など)
 - ⑮地域コミュニティの維持と活性化(自治会や地域スポーツ・緑の少年団活動など)
 - ⑯地域文化・伝統の継承(地域伝統芸能や祭事、歌舞伎未来塾の活動など)
 - ⑰予防のまちづくりで地域の安心(防犯・防災・交通安全等)を向上
(見守り・声掛け、自主防災組織ランクアップ、消防団・防災士の充実など)

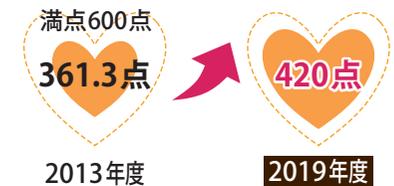
Key Performance Indicator

住みよさランキング(総合順位)



* サブ指標

幸せへの道しるべ(総合得点)



3世代住まい比率(3世代世帯同居人員)



※現状、3世代同居+近居人口は、総人口の40~50%以上と見込んでおり、近居による準3世代住まい比率も高めていく

空き家有効活用数(改修・解体活用等)



アクセスを活かし、新しい産業や文化、くらしを創生

Challenge 2025

おもてなしゲット700万人 ～交流人口700万人へ～

グローバルチャレンジ50000 ～外国人の宿泊者数50,000人へ～

Key Performance Indicator


＊サブ指標


**空・陸・海の
アクセス向上**

- 北陸屈指の交通ネットワークをさらに向上
 - ①小松空港の国際化(国際便・国際貨物便)と機能拡充
 - ②北陸新幹線の小松開業促進(2023年開業へ)
 - ③空港・駅における交通アクセス充実
(鉄道やバス、レンタカーなど多様で便利で快適な交通機能)
 - ④ビジネスや観光等の振興に資する広域道路網の整備促進

**拠点エリアの
魅力アップ**

- 優れたアクセスを活かしたおもしろいまちづくり
 - ⑤空港周辺・駅周辺のおもしろさ(魅力や利便性)と都市機能をレベルアップ
(アミューズメント・人材育成・宿泊機能など)
 - ⑥さらなる産業振興と拠点性の向上を加速
 - ⑦首都圏に立地する機能(企業本社機能や教育研究機能、政府機関等)の受け入れを促進
(まちの強みの活用・発信、インセンティブ制度など)

**グローバル交流を
展開**

- ビジネス・観光・教育等でのグローバル交流を拡大
 - ⑧地域資源(産業、自然、文化、食、温泉など)の評価とブランド力を向上
(5つのテーマ:歌舞伎のまち・科学とひとづくり・乗りものまち・環境王国こまつ)
そして、珠玉と石の文化
 - ⑨観光や教育などのインバウンドを拡大
 - ⑩大学や企業と連携した海外インターンシップを拡大
 - ⑪スポーツ・文化系合宿や大会、MICE等の積極的誘致
 - ⑫企業の結び付き等を活かした海外都市との新しい交流を展開
 - ⑬交流を通じた新産業の創出と新しい小松文化の創造

**広域連携を
充実**

- 広域エリアの連携充実と拠点性を高める
 - ⑭近隣市町との連携による産業振興や人材育成、医療・福祉等の充実
 - ⑮定住自立圏に向けた中心市宣言と具体的連携の調整

まちづくりの実行体制

はつらつとした地域といきいきとした行政
手を携えてチカラを発揮し、未来に向かってまちづくりを推進

まちづくりを
強力に進める
2つのエンジン

2025年 NEXTこまつへ

時代変化を先取りし
まちづくりのチャンス
そして推進力に



市民力と地域の絆。
オールこまつで
ふるさとを共に創り、次世代へ

未来をつくるのは「人とひと」。
ふるさとづくりは
「ひとづくり」から



グローバル交流が進む中
多様な視点で
まちづくり主体と連携

人口減少社会の中で
地方自らが考えて行動し、
まちづくりを実行

はつらつとした 地域の組織

地域はつらつ
協議会
町内会・公民館・
老人会 など

各種団体
NPO など
スポーツ・文化・
環境・国際交流 など

自主防災組織
防犯・交通安全
消防団 など

企業
大学・学校
市民博士 など



自律した組織が自ら考え
オールこまつで課題を解決

いきいきとした 行政組織 (市役所)

Plan
政策と予算
経営会議
方針協議・決定

Do
実行
満足度・幸福度
スピードを追求

Action
リアクション
改革の継続で
常に成長

Check
確認
全体会議
進捗管理・検証

- ◆機動的・身近な組織体制
- ◆職員の知識と技量を向上
- ◆民間の経営感覚で仕事を改革

地方創生の進め方を先取り
PDCAサイクルで実行



